



風しん追加的対策での抗体検査及び

第5期の定期接種

昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日に生まれた男性は、風しんの抗体価が低い可能性があるため、クーポン券を用いて「抗体検査」を実施し、抗体検査の結果にて十分な抗体量がないことが判明した場合は「定期接種」を行うことができます。

対象 検査・接種当日、泉佐野市に住民登録がある男性

※定期予防接種は、対象になる男性のうち抗体検査結果にて十分な量の抗体がないことが判明した人

利用方法

- 対象者にはクーポン券を郵送しています。
- ①は予約のうえ、②③は健診申込時に確認してください。
- 抗体検査および定期接種を受

風しん任意予防接種費用の助成

妊娠を希望する女性、妊娠を希望する女性の配偶者・同居者、妊婦の配偶者・同居者は、一定の基準を満たした場合、「風しん任意予防接種費用の助成」に該当する場合があります。詳しくは問い合わせてください。

問合せ とも家庭課

ける際には、クーポン券と本人確認できる書類の提示（保険証や運転免許証など）が必要です。

※抗体検査希望で、手元にクーポン券がない人や紛失した人はこども家庭課窓口で再発行します。（本人確認書類必要）

有効期限 来年2月28日(金)まで

自己負担金 クーポン券の使用で無料

実施場所

①全国の指定医療機関（医療機関の一覧は、インターネット「風しんの追加的対策 厚生労働省」で検索）

②特定健診（抗体検査のみ）

③事業所健診など（抗体検査のみ）

問合せ とも家庭課

水道基本料金の減免制度

65歳以上の人だけで構成される高齢者世帯は、水道など基本料金の減免を受けられる場合があります。

※同一住所にある人全員が65歳以上に限る

申請を希望する場合は、所得制限がありますので、まずは電話で問い合わせてください。

申請・問合せ 地域共生推進課

11月15日

「世界さい帯血デー」

へその緒のなかの血液（さい帯血）が白血病などの患者さんの命を救います。

問合せ 日本赤十字社近畿さい帯血バンク（☎072・643・1327）



▶ ホームページ

検診のご案内

～対象の人はこの機会に検診を受けましょう～

検診	対象市民	検診内容	申込・問合せ
①肝炎ウイルス検診	過去に肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく、今年度40歳以上となる人	問診・血液検査	指定医療機関は健康推進課ホームページ・広報5月号保存版を参照
②歯周疾患検診	20・30・40・50・60・70歳の人	問診・口腔内診査とその結果に基づくアドバイス ※歯科治療ではありません	指定医療機関は健康推進課ホームページ・広報6月号を参照
③骨粗しょう症検診	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	問診・エックス線による骨量の測定	指定医療機関は健康推進課ホームページ・広報5月号保存版を参照

受診回数 ①は生涯に1回、②③は該当年齢で1回

自己負担 ①②は無料、③は500円

持ち物 健康保険証、自己負担金

※自己負担金減免制度あり。詳しくは健康推進課まで問い合わせてください。

まちの保健室を開設しました

地域のみなさんから、「気軽に医療者に相談できる場がほしい!」という声を聴き学校にある保健室のような場を市役所内につくりました!こことからだのこと。子どもから高齢者まで。看護・介護など様々な健康問題を身近に相談できる場です。ぜひ活用してください!

日時 11月28日(木) 午後2時～4時
(毎月第4木曜日)

場所 泉佐野市役所 市民ロビー

内容 健康チェック(血圧・握力測定など)、生活習慣病の看護や介護などに関する相談

保健室メンバー (独)りんくう総合医療センター看護管理者、専門・認定看護師

共催 泉佐野市、(公社)大阪府看護協会 地域包括ケアグループ

問合せ りんくう総合医療センター 看護管理室 (☎469-3111)

※利用無料

40歳～74歳の国民健康保険加入のみなさんへ
～年に1回健康チェック！特定健診を受けましょう～

特定健診は高血圧を含む生活習慣病の早期発見だけでなく、治療している人も重症化予防のために受けることができます。主治医に相談してください。

【医療機関で受診する場合】

受診期間 来年3月末まで

予約方法 直接、特定健診医療機関（送付する受診券に同封のパンフレットに掲載）へ

【健診センターで受診する場合】

受診期間 来年1月23日(木)は 午前・午後、24日(金)・25日(土)・28日(火)は午前のみ

予約方法

●電話予約の場合…11月18日(月)～12月18日(火)（日曜日、祝日除く）の午前8時30分～午後7時にフリーダイヤル0120-☎188-489（聴覚障害者用 Fax461-4571）へ

●インターネット予約の場合…11月18日(月) 午前8時30分～12月18日(火) 午後7時にウェブサイト「さのテル」(<https://www.aitel-reservation.jp/izumisacity-osaka/>)へアクセス

※いずれも受診券が必要です。今年度まだ受診していない人で、受診券がない人は問い合わせてください。

- 問合先 ●受診券などに関すること…国保年金課
●健診内容に関すること…健康推進課



▲さのテル



「脂質異常（高コレステロール・高中性脂肪）を

特定健診で見つけて脳心血管疾患を予防しよう！」

(独) りんくう総合医療センター 循環器内科部長 増田大作

日本人はもともと米や野菜、そして泉州でもよく採れる魚を中心にした食生活をしてきたことから、脂質異常（コレステロールの上昇、中性脂肪の上昇など）は数パーセントの人に認められる程度でした。しかし、戦後に肉を食べる習慣がわが国でも多く広まったことにより、高コレステロール血症の人の割合は食生活の欧米化と共に、1980年頃には25%、つまり人口の4分の1程度にまで増加し、今も同程度で推移しています。

中性脂肪はエネルギー源として使われる脂質であり、カロリー過剰摂取、肥満、身体活動の不足、アルコールの飲み過ぎなどの生活習慣を背景として、近年、その割合が増加しています。現在健康診断を受ける人のうちおよそ3分の1の人が何らかの脂質異常を指摘されています。採血さえすれば脂質異常のあるなしはわかるのですが、残念ながらこの地域は大阪の他の地域や他の都道府県と比較しても特定健診受診率が低く、大阪府全体の受診率である45.6%よりも低く、泉州地域全体では34%、各自治体のいずれも40%を超えていないのが現状です。

りんくう総合医療センターは、心筋梗塞や脳梗塞などの命に関わる大変な病気で搬送される方が多いですが、これら脂質異常はこのような病気の原因となる重症の動脈硬化になる背景となります。特定健診を受けていただくことで、これら脂質異常を早めに発見し、生活習慣の改善や適切な治療薬による治療の開始によって「救急車で初めて病院へ」を回避することが可能になります。ぜひ特定健診を受けていただき、ご自身の脂質異常の状況をしっかり確認してください！もし異常が見つかった場合は、当院でも脂質異常の専門家がわかりやすく病気について説明し、治療について考えていきますのでぜひ活用してください。

手話をやってみよう！

～ワンポイント手話講座⑮～

今月の手話「分かる、知っている」

右手掌で胸を撫で下ろす。

問合先 地域共生推進課

